

土岐・運・来

とき めぐり きたる

会報「土岐・運・来」第25号
発行 自然・馬・人の会
発行日 2004年3月7日(日)
只今の会員数 正会員 55名
協力会員 37名
賛助会員 2名

私、この子を馬に
のせたい！

～「ウッキー、
「ぱれっと」の柳田くんを乗せる」の巻～

こんにちは！サポートセンター
『ぱれっと』です

大磯町「ぱれっと」山口高志さん

まずは、ちょこっと“ぱれっと”的紹介をしま～す。障害のある人もない人も一緒になって楽しむことができたら…。もっと地域の人達と関わりを持てるところが欲しいなどなど…そんな家族の声がひとつになり、7年前に発足したボランティア団体からスタートして、現在は障害児・者にガイドヘルパーを派遣する事業所として、大磯町を中心に活動しています。メンバー（利用者さん）の方達が、何か自分から楽しみを見つけられる事はないかしら…と考えてた時、「自然・馬・人の会」のお話を聞いて、これだ！と思い、9月より参加しています。

ぱれっとからは、現在、ひとりくん、いさむくん、たくくんの3人が参加しています。ひとりくん（通称ひとちゃん）はわりと慎重派なのに、お馬さんにすんなり乗れてびっくり。たくくんは動物物知り博士で大～い好き！でも初日ににんじんを忘れちゃって…。そしたら前から来ていたお友達がわってくれました。いさむくんは、最初の日遠くから見てるだけ…。でもボランティアさん達がたくさん声をかけてくれて、2回目には騎乗成功！満面の笑み！ →

楽しい仲間が9月から乗りに来ています。大磯町「サポートセンター・ぱれっと」の3人。ひとりくん、たくくん、いさむくんです。

この中のいさむくんを馬の会のウツキーがいたく気に入った！

「私、柳田君（いさむくん）を乗せたい」手をたたきながら会場中を歩き回る、メチャクチャ販やかないいさむくんです。ウツキーは負けじとずっと付き添いました。

「勝手に歩いているようでも、ちゃんと私がついている事を意識してくれた」とウツキー。

その甲斐あってか、初回の乗馬会ではためらつたいさむくん。2回目の10月、初めて馬に乗ったぞ。乗ったとたんに満面の笑み。

3人のおかげで、また一層乗馬会が楽しみになっています。（広報：坂梨）



→ボランティアさん達が一緒ににんじんを食べさせてくれたり、馬のブラッシングをやってくれたりしてだんだん慣れ、今ではみんな乗馬会の日をもの凄く楽しみにしています。（実はヘルパーも）

これからもよろしくお願いします。（11/10）



★9~11月のおえかきコーナー特別企画

大きなおえかき大作戦



報告担当: 鹿のあはさん

お絵かきに大きな紙を使ってみました。全紙の面用紙を2枚ベニヤ板に統けて張り、絵の具はポスターカラーを5色水で溶いたものを用意しました。

筆で描くのは、握力がいるので楽ですが、うっかり色を混ぜて、渋ってしまうと、服が汚れるのが難点です。皆自由にのひのひと、楽しそうに描いてくれました。 (11/9)

親子別々、個人として
いられるのもいい。

小田原市・かな(母)さん、みほ(娘)さん
《お母さんのコメント》

娘と一緒に、乗馬会に参加して、2年ほどになります。一番感動したのは、初めて乗った時、今まで歩いて見ている視界と馬の背から見る視界がまったく違ったこと。そしてそれが動く! (馬が動いてくれるのであります) とても自由を感じました。母子一緒ではなく、一人一人が別のチームで個人として、参加している感じが小学生になった娘には、よかったです。

《みほちゃんのコメント》

馬に乗って感動したのはバカバカというリズムです。少しあじめ、走る時がこわかったけど、最後は楽しくなって、よかったです。ハイジいつもいい子にしてくれて、ありがとうございます。 (11/11)

親子で乗るって どんなふう?

★★何よりも「みんな一緒に」をめざす「馬の会」。プログラム乗馬のレッスンに、子どもだけでなく、親も参加している家族がいるのが特徴です。

「親子で乗って見えたもの」をテーマに3組の親子からコメントをいただきました。

めったにない機会、 生かしてみよう。

大井町・大竹美智子さん、壯弥くんとにかく馬に乗るのは楽しいです。せっかく乗馬会に来るのですから、親子で楽しいほうがいいでしょう。だけど、馬に乗るのは難しいのです。そこで、子どものすごさが分かるのです。それに子どもは親が乗馬しているのがうれしいようで、息子ももう一組のお子さんも、一生懸命に応援してくれます。

親子で同じスポーツを楽しむというのは、なかなかないもの、特にハンデがある子どもさんの場合は、余計に難しくなるのではないかでしょうか。この恵まれた機会をぜひ皆さんも生かしてください。 (10/12)

恵子と共に体験する ことが全て楽しくて

保土ヶ谷区・里深恵理子さん、恵子さん 乗馬会に参加するようになって、2年近くになります。いつも親子で乗せてもらいありがとうございます。恵子は生まれた時から目と耳が不自由ですが、それは元気な、たくましい女の子で、触ったり、なめたり、匂い等で色々な人を覚えていく様でした。いつしか母も恵子とともに出かけ、体験する事が全て楽しくなりました。

お馬との出会いは、8年前に1度、2人乗りをさせてもらった事があり、その時の馬のぬくもり、乗馬の後のなんとも心地よい疲れは、今でも良く覚えています。

そんな恵子ももう18歳。そろそろ大人の仲間入りです。娘にとっては世界の広がりを、母には老後(?!)の楽しみを。まだまだ二人三脚止められません。馬の背に背を合わせ、お空を見上げるスタイルでリラックスしている美女?! をみかけたら、「ケイちゃん」と呼んでやって下さいね。 (12/1)



ボランティアトーク

「乗せる」という体験

◆ボランティアとして、「人を乗せる」ことをしてみると、「自分が乗ること」で味わえない何かが体験できるのでは? 南足柄の「カマ」さんの感想に寄せて、乗馬経験のある3人のスタッフが書いてみた。

『初参加の感想』

南足柄市・「カマ」さん

今回、タウンページをみて、ボランティアとして仕事をしたんですが、障害を持っている方など色々な人の補助として、乗る方じゃなくて、乗せる方として勉強させていただきました。これからもみんなさんに馬の事を好きになってもらうためにも、活動をしていってください。どうもありがとうございます。

(11/2)

自分も乗ってるつもり、イメージトレーニングです。

小田原市・阿久津真理子さん

私は、まだ馬に乗ることは勉強中なので、乗馬会でサポートをする時には、自分も乗っているつもりでイメージトレーニングしています。また、馬をひくことによって、馬がどんな気持ちなのかを間近で感じられ(?)ような気がして)、馬とのコミュニケーションのとり方の勉強にもなっています。(馬と一緒に走るのは、ちょっとごたえますが・・・)

(12/14)

「楽しかった!」と言つてもらえたうれしさ。

小田原市・稻積美代子さん

馬に安全に楽しく乗ってもらえばいいなと思っています。周りが注意していれば、安全に乗つてもらうことはできると思うのですが、楽しく乗つてもらうためには、それぞれ楽しいと感じる事が違うので、本当にむつかしいです。

馬を思い通りに動かせた時、サイドの人と楽しく話したとき、速足(はやあし)をした時など、その人ごとの楽しさをみつけて、降りた時に「楽しかった!」と言ってもらえるようにお手伝いしていきたいです。 (12/14)

逆に教わること、それもまた楽し。

川崎市高津区・花形富雄さん

自分が馬に乗っているとき、気分が楽しくなれる様に、まだ馬に乗ったことのない人に楽しく乗つてもらいたく、馬のひき手として、多少でもアドバイスができればと参加しています。

ひき手として客観的に乗っている人の表情で緊張度合いや集中力等、感情の表現等を少し読み取れるようになり、アドバイスをしているつもりが、逆に教わる所が多くあり、毎回楽しみです。

(12/14)

定期乗馬会の予定

4/4(日)、5/9(日)

北緯五大祭り 5/3(月・祝日)



「自然・馬・人の会」 会長 桜井 広利
〒250-0045 小田原市城山1-3-22

TEL 0465-32-1308 FAX 0465-32-1332

E-mail na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)

ホームページ <http://dhi.cool.ne.jp/uma/>

後援: 小田原市

助成: 子どもゆめ基金・ともしひ基金実業事業

富士ゼロックス端数クラブ(渡邉義彦さんのご紹介)

日本興亜おもいやりクラブ